

# 番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

1. 開催年月日 平成17年5月17日(火) 12:00～13:30
2. 開催場所 東劇ビル5階 衛星劇場会議室
3. 委員の出席 委員総数 7名  
出席委員数5名 (堀江ミエ子、田中康義、品田雄吉、小山観翁、  
山内静夫、)  
欠席委員数2名 (中村芝翫、伊藤信太郎)
4. 放送事業社側出席 8名 (八木ヶ谷昭次 [代表取締役社長]、石川富康[相談役]、  
中川滋弘[専務取締役・製作担当]、山崎克己[常務取締  
役・編成担当]、藤本弘之[取締役・営業担当]、森重晃  
〔製作部長〕、深田誠剛[編成部長]、尾崎誠〔編成次長〕)
5. 議事の概要
  - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの現状報告
  - ・その他
6. 議事内容
  - 現状報告
    - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの現状
    - ・上記加入者に関する分析の報告
  - 今後の放送予定と出資作品
    - ・5～7月放送作品の説明

(議事詳細)

石川相談役 : 本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
先日の株主総会をもちまして、私は社長の座から退き、新しく八木ヶ谷を社長に迎えました。今後ともよろしく願いいたします。

八木ヶ谷社長 : このたび衛星劇場の社長に就任いたしました八木ヶ谷です。よろしく願いいたします。衛星劇場の番組審議委員会の進行は初めてですが、現状を説明させていただきます。

韓流の影響もあり、今期、来期あたりまでは安定した加入が望めると思います。私は衛星劇場を立ち上げる際、依託放送事業の申請に行ったことがあります。当時は、一業種一社という割り当てで日活と松竹で始めた事業です。何かの縁を感じますね。

小山委員 : 当初立ち上げる際には、映画、歌舞伎、演劇などの放送もするというところで、認可が下りたんですよ。

八木ヶ谷社長 : そうですね。松竹のもっている映画、歌舞伎などが放送を始めるにあたって、魅力的な放送を実現できたわけですね。現在も歌舞伎なども定期的に放送しています。加入者の目標としては、当時WOWOWは 300 万を想定して事業計画を打ち出しましたが、うちはその 10 分の 1 で 30 万を目標に事業を展開してきました。昨年の 9 月にやっとその数字に到達したわけです。

品田委員 : WOWOW は目標の 300 万には届かず、現在は 240 万ぐらいまで減ってきていますね。

八木ヶ谷社長 : そうですね、現状はだいぶ落ち込んできているようですね。お陰さまで、衛星劇場の加入者は安定していると思います。それでは、各チャンネルの説明をお願いします。

山崎常務 : 韓流の盛り上がりで、衛星劇場の韓国ドラマの放送も定曜定時に定着してきています。ペ・ヨンジュン人気は相変わらずですが、その他にも若い人からは、キム・ジェウオン、キム・レウオンなどの人気も出てきています。こういった年代の人が加入してくれることも新たな市場の開拓だと思います。またドラマは定曜定時になってきていますが、映画は尺の問題からそれは難しいです。また企画制作番組が増えてきていて、その番組も好評です。堀江さ

んなどは、韓国ドラマをどう捉えていらっしゃるのでしょうか？

堀江委員 : 世間ではペ・ヨンジュンにはまる女性が沢山いますが、私の周りの働く女性達は全く興味を示していません。これはどういうことなのでしょう？不思議な現象です。

山崎常務 : それは不思議ですね。うちの視聴者の方は、主婦の人で時間に余裕のある人ということでしょうか。韓国だけでなく最近台湾ドラマも少しずつ人気が出てきています。また6月には美空ひばりさんの特集を組んでいます。

尾崎次長 : 韓国、台湾のドラマを中心に放送しております。木下恵介アワーの放送を開始しました。映画からテレビへ移行した時の作品で、クオリティが高い全16作品441話放送していきます。視聴者の方にも喜んでもらえる作品だと思います。それに絡めて「山田太一が語る木下恵介」という特別番組も企画しています。

藤本取締役 : 加入状況はスカパーはベーシックで90万世帯、ケーブルで30万世帯となっております。J-COMは全国で35局あり、170~180万世帯のうちデジタルのメニューに6月よりホームドラマチャンネルが導入されることになりました。これでまた31万世帯がプラスされます。

中川専務 : 出資映画21本のうち、6本は韓国映画です。韓国ドラマと違ってメロドラマ路線ではなく、重厚でかなり良く出来た作品が多いです。しかし、興行としては、いまいちでなかなか一般に受け入れられるのは、難しい状況になっています。その中で『マラソン』『南極日誌』は内容からかなり期待している作品です。また模図かずお作品を放送することになり、ビデオ権つきの日本映画として放送していきます。

田中委員 : 衛星劇場では質の良い映画を放送して行って欲しいですね。今のラインナップでもかなり魅力的なものが多いので、今後もこのような映画を続けて放送していけば、加入促進にもつながると思います。

八木ヶ谷社長 : まだまだ“韓流”の流れは続いていくと思います。うちの放送もその流れに乗って行きながら、やはり原点である日本映画のいい作品もたくさん放送して参ります。“韓流”のお陰で少し回復傾向にありますが、まだまだ厳しい状況は続くと思いますので、審議委員の方々の貴重なご意見を活かして、よ

り一層頑張っていきたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

衛星劇場 番組審議委員会

7. 審議期間の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

8. 審議期間の答申又は意見の概略を公表した場合におけるその公表内容、方法及び月日

特になし

9. その他の参考事項

特になし